

## 議会モニターとの意見交換会（令和7年3月24日）会議要旨

### 日 程

- 1 開 会
- 2 議長挨拶
- 3 自己紹介
- 4 意見交換（テーマ）
  - ① 新しい議会に求めるもの
  - ② 本会議等の会議や議会運営に関する意見
  - ③ 議会だより、議会ホームページ、CATVの議会放映など、議会の広報・広聴活動に関する意見
- 5 閉 会

#### 1 開会（10：00～）

**【議会運営委員会委員長 西垣 司】** みなさん、おはようございます。最初に、会議録作成及び記録のための録音と写真撮影について、ご了解いただきますようお願いします。

今日は、議会モニターと養父市議会の意見交換会を御案内させていただきましたところ、本日は議会議員の方が16名のうち2名が欠席で14名、そして議会モニターの皆さん14人中（9名の出席予定でしたが）、当日1名の方が欠席されましたので8名のご出席をいただいております。多くのモニターのみなさまにご出席をいただけるということで感謝を申し上げます。

今回は、初めて議場を使つての意見交換会を企画いたしました。議会モニターの皆さんにも、実際に議場へ着席いただくことで、議会のことを少しでもご理解いただく機会になればと考えているところです。

それでは、お手元に配付の次第に沿って進めさせていただきます。意見交換会の終了時間は、11時30分ごろを予定しておりますので、進行にはご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

初めに養父市議会を代表いたしまして、谷垣議長よりご挨拶を申し上げます。

#### 2 議長挨拶

**【議長 谷垣 満】** みなさんおはようございます。挨拶に先立ちまして、本年度の議会モニターでもありました西村禮治元市議会議員が先月末に急逝されました。

議員時代には議会基本条例の制定など現市議会の礎を築くとともに、全国の地方議会の現場にも精力的に足を運ばれ本市議会の議会改革をけん引してこられました。

退任後も議会モニターとして豊富な知識と経験をもとに、的確なご意見を賜り、元議員の

立場で市議会を支えていただき、応援していただきました。その功績と議員としてのご尽力、ご貢献に対しまして本議場において深い敬意と感謝を申し上げます。

さて今年度の意見交換会に際し、ご多用中にも関わりませずご参集をいただきました議会モニターのみなさまに厚く御礼を申し上げます。また、任期中には多様なご意見ご指摘を賜りましたことに感謝をいたします。

今年度は改選もありまして、新たな議会構成のもとでの最初の意見交換会になります。また本定例会の最終日には議会改革推進特別委員会の設置を予定しております。

議会モニターのみなさまと意見を共有し、よりよい議会の実現に向けて、頂いたご意見を積極的に議会活動に反映させてまいりたいと考えております。

本日は短い時間ではございますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。本日どうぞよろしく願いいたします。

### 3 自己紹介 【出席者全員】

### 4 協議事項

テーマ① 新しい議会に求めるもの

**【議会運営委員会委員長 西垣 司】** それではただいまから意見交換会に入らせていただきます。

皆様からの御意見を頂きたいと思いますが、全てのテーマについて、全ての方から御発言を頂くというのは、時間の都合上難しいと考えております。

テーマごとに2から3名のモニターの方に御発言を頂き、そのあとに議員から発言する形で意見交換を進めていきたいと思っております。

テーマを3つに区切っておりますので、モニターのみなさま、いずれかのテーマで必ず1回は御発言頂きたいと思っております。

まず一つ目のテーマ、新しい議会に求めるものについて、議会モニターの皆さんから御意見を頂きたいと思っております。

**【議会モニターA】** 議会は、予算を認めた責任というのはしっかり持っていただきたい。いつも議会を見ていて思うが、当局にばかり責任を負わせるような対応は良くない。残念に思っています。議会が予算を認めた責任は重い。市民が予算を認めることはできないので、そこはしっかりやっていただきたいと私は思います。以上です。

**【議会モニターB】** 選挙がありまして、新しい市長、新しい市議会議員の方がたくさん生まれたという変化の年になるのかなと、一市民として見させていただいています。

若い女性の議員が誕生したり、養父市外出身の方が市議会議員になられたり、顔ぶれも大きく変わられている中で、多分実際の質問自体に慣れられない方とかいらっしやると思いますから、議長はじめベテランのみなさまと一致団結してとはいかなくても、しっかり議会対応について知識、ノウハウを共有して当局としっかり質疑できる体制を議員同士で執

っていただきたいというのが一つ。

もう一つは、メンバーが代わったことによって議会運営自体も変化を起こしやすいタイミングなのかと思いますので、これ以降ここまで顔ぶれがわかることはしばらくないと思いますし、ベテランの方を中心に議会運営の刷新といいますか、よりよい議会運営ができるように、そして相対する市長も代わっていますから、今までとは違う流れで質疑等、本会議前の交渉等もできるのではないかというふうないいタイミングと思っていますので、そういった点をベテランの議員さん中心に頑張ってくださいと思います。

一点は、当選されたみなさんも自分の訴えたいことがそれぞれあると思いますので、それをしっかり訴えていただきながらも、それぞれのキャラクターが、年齢、性別、地域が違います。聞ける市民の声がそれぞれ違うと思いますから、私もそれぞれの議員さんとの距離が違いますし、それぞれが聞ける市民の声をしっかり聞いていただいて、質問して、第2、第3の質問にさせていただければ非常に嬉しいと思います。以上です。

**【議会モニターC】** 全然議会のことをよく理解しない者が意見を申しあげて申し訳ないんですがお許しください。まず、新しい議会に求めるものと、②のところとごちゃごちゃになるかもしれませんが、よろしいでしょうか。

まず、一つです。委員会からの報告というのがあります。それでそれぞれの議員さんの持ち時間というのが多分決まっているのだらうと思います。どうして決められるかわかりませんけれども時間短縮という意味で委員会報告のとき、どのような報告書が出ているのか、私はわからないのですが、全部書いてあるものを読まれているのではないかと思います。

議長様ということで委員会のみなさんのメンバーのお名前をして、いつそういうことを話し合ったのかというようなことを言われている。

もうそれは配信されているということを議長さんが言うておられるので、だったら要点のみを言われたら。

特に要旨を言われて、そして報告されたら、ちょっと時間短縮になるのではないかなと思います。

ただ、これは議会の運営規則でそういうことが決まっているのなら、それは仕方がないことですが、もうちょっと議員さんの質問時間とか、そういうものに時間を取る方がいいのではと思います。

二つ目は、実際にここ議場に来さしてもらって、インターネットの配信の方を見せていただいています。それを見ていると、わからないこと、私自身知らないことが議員さんの質問によっていっぱいわかります。

興味があればですが、そういうのを市民のみなさんが見られたら、いろいろと自分の知らないことをよく知れていいのではと思います。

それから議員さんたちの質問ですが、当局に質問内容を挙げておられるのだと思います。それで、それについての答弁が出たときに、それを返すような感じでもう一度深く質問していただけると、その議論が深まって行って、そういうのを見る市民が興味を持って見られる

のではないかなと思います。

今言ったことをお前がやれと言われたら、私はできませんけれども、でも選ばれた議員さんたちですので、そこら辺は経験豊富なのではないかなというふうに思いますのでそんなことを感じております。よろしくお願いします。

**【議会運営委員会委員長 西垣 司】** では今、3名の方からいろいろ最初のテーマ「新しい議会に求めるもの」につきまして、ご意見をいただきました。

では、議員側の方からそれに対してのお答えを申し上げます。議員の方どちらかございますか。

**【議員 浄慶 耕造】** Cさんがおっしゃった委員会の報告書の考えについて、議会の考え方を示しておきたいと思います。

今常任委員会が二つございます。生活環境常任委員会と総務文教常任委員会の二つ委員会がありまして、この常任委員会は議会が終わった閉会中にテーマを決めて調査を行います。その調査の報告を本議会でやるということになるのですが、例えば私、生活環境常任委員会の委員長をさせていただいて、今般も農業問題についての調査を行いました。調査をやって報告書を短く書くのか、長く書くのかはいつも言われます。事務局長あたりにはもっと短く短くと言われるのですが、やっぱり調査した内容をたくさん聞きたいということがありまして、たくさん書いて全文議会で報告するのです。

ですから、文書を読み上げるという形になって、お聞きになるほうもたくさんあってどうかと思うし、喋る方も上手く読めないということもあって時間が経過するんですけど、この辺りは調査をする内容、報告書を作る文章と、報告するときは要点を形にするとか、そこは議会の中で、そういう対応ができるのかどうかということは議論をして、私も報告書はできるだけ詳しい報告書をつくって、議会では簡単に報告するというやり方がいいと思っていますので、議会改革の委員会もありますので、この点は議論させていただきたいと思います。

**【議員 石本 毅】** ご意見ありがとうございます。Cモニターのおっしゃっていた報告の件ですが、私もまだ5ヶ月経ったところで一周してないのですが、私も以前はモニターの側にいてそれなりに勉強をしていたつもりでしたが、中に入るといろいろな手続きがあるので。いろいろなプロセスが何であるのかと、今まさに感じているところです。ある程度理解はあっても、少し複雑ではないか。それから委員会報告、Cさんのおっしゃっていることにもつながると思いますが、長いとおっしゃることは退屈ということにつながるとは思います。退屈な報告をしているのかもしれない。私もモニターで聞いていたときは、なんでこんな委員会報告をするのかなと、外から見ていたときは思ったけれど、実は、その過程において一生懸命議論をされているのです。その様子をうまく伝えられないか、そのように今感じているところです。外からみたら形骸化している、中からみたら一生懸命やっている。そのギャップを何とか埋めていきたいと感じています。議会改革推進特別委員会があるので、その中で、形式的な部分と実質的な部分をつなぎ合わせるように、私も努力していきたいと考えていますので、ご指導のほどよろしくお願いします。

**【議員 藤原 芳巳】** Aさんの言われた意見の視点は非常に大事で、予算を認めた議会の立場は非常に大事で、予算だけじゃなくて計画でありますとか、条例でありますとか、こちらも議会が認めていくわけです。その上でいつも一般質問をするときは、それをベースにして考えるのですが、やはり葛藤しながらも、その上でなおこれを提言しなきゃいけないなど、そういう姿勢で一応取組んでいるつもりなんですけど、新しい人がたくさん入りました。そういう中で、Aさんの意見は、これを胸におきながら質問しないといかんというふうに思いました。

**【議長 谷垣 満】** 私からは短めにですけども、私もAモニターさんが言われるような形のことを今議会の中では作り上げていきたいなと思っています。まず予算を決めて、あと決算を受けてそのサイクルの中で継続して調査をした上で、市民の皆さんがわかる形でこれはどうあったのでこういう提言をしたとか、どうあったのでこういう判断をしたというのがわかるような、1年間のサイクルを作って行くような必要があるかなというふうに感じておりますので、他ではそういった取組みをされている議会もありますので参考にしながら、していきたいと思っています。

また、Bモニターの言われたとおり、今回新たな議会となりまして、当局の体制も市長も代わったということがある中で、一つは議会に向かう前に政策をしっかりと担当部局から聞くような仕組みを今期から始めております。

また、定例会ごとに新たに議員になられた方と議長、副議長と意見交換というか、そんな形の中で、これまで議会の慣例的に行ってきたことの中にも改革、改変する必要があるかもしれないということで、そういう意見交換の機会を持っております。

そういったこと取組を重ねながらより良い議会の実現に今期取組んでいるところで、また内容とかも含めて共有をしながら良い方向に進めるように取組んでおりますので補足をさせていただきます。

**【議会運営委員長 西垣 司】** では最初のテーマにつきましては、みなさま方から予算につきましては、当局だけでなく、それを認めた議会についてもしっかりと考えて行かなければならない。そして、委員会の報告におきましては、極力時間を圧縮するというのも考えるべきではないか、というような意見もございましたし、また、市民の声をしっかりと聴いて反映するというのも聞いておりますので、今後の議会としての参考にさせていただきたいと考えております。

次に、一般質問の深掘りという話が出ていましたが、この件について、西田議員いかがでしょうか。

**【議員 西田 雄一】** Cモニターさんの間で、質問内容の深掘りということは、これは一般質問についてでしょうか。

これにつきましては、一番基本になるのは、一般質問というのは通告なのです。通告を議長に提出して、それで許可をいただいて一般質問するんですが、その中で1回質問して、答弁をいただいて、それからまたもう一つそこで再質問というようなことで、それは議員一人

一人の思いでやっておりますので。その辺は今お聞きした意見なども参考にしながらしたいと思いますが、なにせこれルールというものがあまして。議会運営は全てルールなのです。ルールに則っていかなければならないということがありますのでご理解のほどお願いしたいと思います。

テーマ② 本会議等の会議や議会運営に関する意見

**【議会運営委員会委員長 西垣 司】** それでは、次の二つ目のテーマに入っていきたいと思えます。本会議等の会議や議会運営に関する意見について、これにつきましてモニターの方々のご意見を頂戴いたしたいと思えます。

**【議会モニターD】** 座組というか、枠組みについての確認と進め方についてまずお聞きしますけども、従前ですとモニターさんと議会運営委員会との意見交換ということだったと思えます。本日の流れを見ますと議員、議会全体との意見交換というふうなことになってるか。その認識でよいでしょうか。

**【議会運営委員長 西垣 司】** はいそれで。

**【議会モニターD】** それはまさに新しい議会になっているなど感じているところではあります。本会議運営というか、この会議を進めるにあたって、私も常々思っていることがありまして、大体上がってくる意見というのは同じような意見もあれば、新たな問題も上がってくると思えます。これまでのモニターさんとの意見交換の要旨というのをしっかり読み込んでここに挑んでいただいていると思えますけども、その点について、議会側で何か前もって確認していただいているのでしょうか。それを下敷きに話を進めていくことができるのか。枠組みについてまずお聞きします。

**【議会運営委員長 西垣 司】** 議会側の認識のことですか。

**【議会モニターD】** これまでの流れがありますし、私も少し関わったことがありますので、これまでのことをいきなり問題、議題とするとなると、何か問題があるとしたら今日初めて出た話しかできないということになりますけど、これまでの流れの上でそういったこともお聞きしていいのか、ということですが。

**【議長 谷垣 満】** 先ほど言われるように、これまで議会運営委員会と議会モニターさんとの意見交換会としていまして、その内容につきましては要旨という形で、議会運営委員会の中で要約したものを全議員に共有してきているということ。

ただし今回に当たって、前回がどうであったかということの確認はできていなかったもので、これについては、次回以降はもう少し共有できる仕組みが必要ではないかと思えます。

また今回提案の中で今年度についても〇〇モニターさんであったり〇〇モニターさん、〇〇モニターさんからも電話とかでいろんな意見をいただいておりますものは、議会の中で共有はしております。またモニターさん同士でどういった意見が出ているか共有する仕組みも必要じゃないかなというふうにも思っておりますので、今後また議運の中でも、そういう意見については何か良い提案の中で共有できる仕組みに持っていきたいなと思っております。

りますので、そんな形で今回については新たに議員になられた方には過去を全て見ていただいで出席していただいているわけではないということでもありますので、ただテーマにありますように、新たな構成の中で、こういった方向性をといったご意見をいただいたものについては、しっかり次の議会運営にも生かしていきたいと思っておりますので、次の意見をいただければありがたいです。

**【議会モニターE】** 私も数年モニターをさせていただいているのですが、先程深堀りの話がありました。ある事柄について、市から答弁をもらって、答弁の中に「検討する」とか「執行中」とかが出てきています。その後どうなっているのか気になることがありました。深堀りに絡んで、追及もしていただきたいなと思いました。議会の中でそれができないのであれば、議員さんの活動の中で動いていただいたらいいかな、というのが1点。

それから、2点目としまして、市長も議会も住民の代表、議会で議決されたことについて、市長も議員さんも同一方向へ動いているわけなのですが、その執行の仕方、いわゆる予算の使い方とか思いの持ち方とかというのはおそらく議決されると同じ方向に動きます。ところが実際に執行の段階になるといろいろな問題が出てきています。その執行の段階のチェックを議会の方でしっかりチェックしていただきたい。そのためには、行政と同じぐらいの専門知識が必要だと思えばあらゆるところが絡んできますから、小さな子供さんの問題からお年寄りの問題まで、あらゆることに絡んできますから、何か一つ特別な知識を持っていただくことが必要かな。その特別なこと一つをしっかりと進めて行けば、あらゆるものに通じるのかなというふうに思っています。先ほど申し上げましたとおり、もっと追及してほしいという気持ちがあります。以上です。

**【議会モニターF】** 私、最初の紹介でもさせていただいたのですが、なかなか一般市民が、議会であるとか市政についてどこまで関心を持って過ごされているのか、なかなか見えてこないところがあります。家に訪ねて来られる議員さんもあつたりしますが、なかなか話をする機会も難しい。そもそも私は公務員上がりですので、公務員時代は、議会に対する答弁を作る機会もありまして、出来レース的な部分があるのかなとの感じもしますので、今、深堀りの話があったのですが、やはりそこで終わってしまうのではなくて、追及すべきところはもっともっと追及してほしいですし、それが本当に市民のみなさんの声になっているのかどうか。見えないところもありますので、市民のみなさんが議員さんを通じて、市に対する要望とか、そういうものが行政として進める中で市民のためになっているのかどうか、チェックしていくということで、市民のみなさんが、議員がそういうことをちゃんとやってくれているのだなと感じるような議会運営をしていただければいいのかなと思います。

それから、3番目の広報的な部分ともつながってくるのだと思いますが、ほんとのところを追求するという形で進めて頂けたらと思います。質問というより意見です。

**【議会運営委員会委員長 西垣 司】** ただいま2番目のテーマにつきまして、3名の方からご意見等がございました。これに対して議員側の方で、どうですか。

**【議員 塚本 正彦】** 3名の方の答えになるかどうか、自信がないところもありますが、

お話をさせていただきます。私も12月と3月と2回一般質問に立たせていただきました。その中で自分がこれまで市民としてビデオで見えていたが、自分が話せる時間というのが、実はルールがございまして、こちらが喋ることは全部を数えられて30分間という条件が決まっているのです。当局の答弁時間は無制限、縛りがないのです。その関係で言うならば、自分が質問したいことを作り上げていくためには、当然地域に実際出てお話をサーベイして作っていくことをしていきます。その中で、自分の時間は30分と決まっておりますので、回答に対して、それに討論していくということの時間が読めない関係がありますので、逆に言えば返ってくる質問を想定した上で、次の質問を通告していて、質問していくというパターンを今回はこれを意識して作っているのが現状です。

その中でやはり30分の時間をどこまで深掘りしていくかっていうのがいわゆる議員がこの件に関してはどういう思いで取組んでいくかで非常に変わってくると思うのです。

当然市民の方からお聞きしたことをしっかり反映させていただけるような質問を続けていくということをやっぱり議員はやって行かないといけないと思いますし、最後に実際にビデオなり、議会だよりが出来ますけど、あれはほんのちょっとしか出ませんので、あとはどういった形で実際声を聞かせてもらった人へフィードバックしていくかという活動は、それは閉会中の間にでもいわゆる責任を持って取組む姿勢が結構重要なことかと思えます。

みなさんのお話を伺うあたり、また対応できるということがこの16名の議員がしっかりとやっていくっていうことがあるなというふうに感じています。以上です。

**【議員 西田 雄一】** 今日、皆様方から深掘りといいますか、再質問ですね、これ本当に私も経験上1年に1回は災害問題についてずっと経験しております。それで、宿南の青山川の流末に樋門というのが何億円かけた大きなものができたというようなこともあります。

やっぱりそれが市民のみなさんの大きな我々に対する期待感もありましょう。

この度広瀬市長から大林市長に代わられました。それでこないだの一般質問ですが、今まで我々が言ってもEさんおっしゃるように「頑張ります」そういうことでしか出なかったのですが、今まではずっと一方通行で終わっていたのです、当局の答弁も。

ただ大林市長になられてから、一般質問でも最後に、今までの一方通行、我々が言うだけで全然返事がなかったと。そういうことも今後、そこに留意をして、できたものはできた、できないものはできない。やっぱりそこが、市民のみなさんが一番考えておられることだと思いますので。頑張っておりますので、今後もいろいろとありましたらお願いしたいと思います。以上です。

**【議員 淨慶耕造】** 議員の追及というか質問で、当局からの答弁にさらにもっと追及せよと、そのことで市民の理解が深まる形になると仰るところは、まさにそのとおりの思いです。

議員も、この後にこの一言がなんで言えなかったかと、いつも終わった後には反省の気持ちが残ります。議員は勉強と同時に瞬間的に反応する力も付けたい。そこで大事なことは、質問はできるが、議論ができるか、であります。議論をするには、政策に対して自分ならどういう政策が必要か議員自身が考えを持つ必要があります。そうすると議論ができる形に

なる。議員が政策を作る力となると、市民のみなさんの多様な意見と参画が不可欠。市民が議員を巻き込んでいくことで、議員にも政策立案の力が付いてくる。そのところのお願いさせていただきます。

**【議会運営委員会委員長 西垣 司】** 2番目のテーマについては、多くの方から、一般質問についての深掘りがもう少し必要ではないかという指摘、また、事業が執行される段階でのチェックについての意見がありました。議会としては、事業によっては特別委員会を設置し、進捗状況を調査しており、その点は理解をいただきたいと思います。市民のための一般質問という視点を踏まえて、今回の意見を議員が共有して今後の議員活動の参考にさせていただきます。

テーマ③ 議会だより、議会ホームページ、CATVの議会放映など、議会の広報・広聴活動に関する意見

**【議会運営委員会委員長 西垣 司】** 次にテーマ③は次の3番目の質問に入りたいと思います。次のテーマにつきましては、議会だより、議会ホームページ、CATVの議会放送など議会の広報・広聴活動に関する意見、その他について議会モニターの方からのご意見を頂戴いたしたいと思います。

**【議会モニターA】** 各委員会の放送、若しくはSNSの配信等をやっていただきたいんですけど、それはできないのでしょうか。

**【議会運営委員会副委員長 藤原 芳巳】** 前期から話題は出ていまして、それで時代はそういう方向を向いていることは議会としても認識しているところです。ただ養父市の予算の中でそれができるのかどうかと、どの程度のことを決めてかからなければならないか、そのあたりを今検討しようとしている段階であるのご理解いただきたい。

**【議会モニターG】** 議会モニターをしており、一般質問では、後ろから見させていただいている。今回は意見交換会があったので、録画放送を見ました。普段は、後ろ越しで、当局と議員のやり取りが見えないのですが、録画放送を見て気づいたのは、議員に暗記してとは言いませんが、原稿読むため目線が下に行くのです。目線はやっぱり下げない方がいいと思うのです。(原稿を上げて)読んでもいいと思います。目線が下がると、視聴者からは自信がないように映ると感じます。僕だけの思いかもしれませんが、正々堂々と(原稿を上げて)見ておられる方もたくさんありますが、それでいいと思います。目線を下げ、せつかくの意見を損なわないようにされた方がいいと思います。PTAで卒業や入学の挨拶の際も巻物を読みます。覚えて来いと言われたら大変です。議員も堂々と読むことでいいと思います。

後ろからでは、議員の顔が見えないので、以前から事務局にはモニターを付けてほしいと伝えていたが、予算の課題もあり反映されません。長年の懸案です。うまくやっていただきたいです。

**【議長 谷垣 満】** まずは傍聴いただいている方には大変感謝申し上げます。現実に見て

お仕事もある中で傍聴いただくことは厳しいですが、雰囲気を感じていただくということは、お願いしたいところです。

今回のモニターさんとの意見交換につきましても、画像を流せないとか、但馬の他市でもライブが外で見れるとか、子供さんと一緒にロビーで見れるとか、そういった取組をされているところもたくさんありますので。ただ議場のカメラシステムも新しくなってから、まだそういった活用は今実際やってなくて、議運の中では提案はしましたが、ただいま定例会中なので設定をいじって不具合があると困ることがありますが、今後においてはそういった形で、機材の活用が可能であれば傍聴席から議員の顔が見えるようにしていきたいと思います。

目線が下になってしまうのは、議場での発言は間違いがないよう慎重にしているのですが、どうしても見てしまうところがあるのですが、理想としては、当局と目線を合せていくのが理想であると思いますので、ご意見を参考にさせていただきたいと思います。

**【議会モニターG】** 議会モニターは20名募集となっていると思いますけれど、皆がそろえることはなかなか不可能に近い、難しいと思いますが、一般質問が白熱しているように見えないんです。予定調和でやっているようにしか見えなくて、迫力を感じないのです。

もちろん何とか委員会ではすごい喧々諤々の議論がなされていると思いますけど、物足りない。モニターの方などが議会を見に行くような環境を作っていただくことができないかと思うのです。それができないからテレビの方に力を入れているのかと思いますが、僕からすると、ここに来て、議員の方々の白熱した内容をつぶさに見てもらえるような雰囲気、環境を作っていただくように、裏方でやっていただけないかと思いました。

**【議会モニターH】** こういった場を設定していただき感謝します。はじめて議場で発言することのプレッシャー、大変さをあらためて感じさせていただいています。

私の方からは、広報というか、メディアの点で発言します。先日予算委員会に傍聴に行きました。先ほど深掘りという話がありましたが、予算委員会ではかなり細かいところまで議論が進んでいたり、頻繁にキャッチボールもされていると素人ながら感じた次第です。

そこで、委員会がメディア等で公開されると、このバックボーンはこういったことかと、市民の方にも見えてくるのではないかと思います。報告が長くなってしまいう点でも、委員会がメディアに出ていると、文書の中身とつながり理解が深まると感じた次第です。

もう一つ、メディアという点では、一般質問に関するところで個別のことではあるが、石本議員と井戸議員のところを感じたことで、パネル等で表示ができれば市民の方に説明がしやすかったのではないかと感じました。例を挙げると、石本議員のところ、政策を作る段階でプロセスが大事である。それはエビデンスを基にして構築していくことが重要だとの発言があったと思います。これを言葉で説明するのはなかなか難しく、調べましたら多分エビデンス・ベイストをもとにして発言をされていたと思いますので、これを図解して説明することができれば、CATVで説明図を表示して、この流れで政策を決定して、重要なところはここですとわかりやすく説明することが可能であったと感じました。

あと一点ですが、井戸議員のところ、介護保険が高い要因に触れられていましたが、サービスの種類を挙げてこれが要因であるというところで、世登部長に回答が移って「間違いありません」ということでした。種類、数字やグラフを部長との間では共有されていたと思いますが、そこでグラフなりで他市との違いの要因を図解できれば、CATVを見ている人にも理解しやすかったのではないかと感じました。

以上、委員会とケーブルテレビで技術的な対応が可能であれば、図解や委員会の放映などにトライしていただければいいかなと思っています。

**【議会運営委員会委員長 西垣 司】** Hモニターから質問の中で図や写真の表示ができればわかりやすいという問いがありました。当議会では駄目だということになっていますので、ご理解をいただきたいと思います。

先ほどの質問の中で井戸議員の介護保険のことがありましたので、井戸議員から発言がありましたらお願いします。

**【議員 井戸 弘美】** 通告を最初に出さしていただくが、通告を出した後から市民の1人の方から「答えはこうだよ」、「介護保険料というものは、養父市が高いのはこういう状況なのだよ」とご意見をご教授いただきました。SNSでいただきました。ほんとは、知らないふりをして市民のみなさんに分かっていた方がいいのかというふうな感じで伝えなかったのですが、教授いただいたからには、それも伝えなければいけないということがありまして、自分自身でご教授いただいた回答を述べさせていただいた後に、「この認識で間違いはないですか。追加があればお願いします。」という形を取らせていただいたところ、もちろんあったのですが、私自身ももどかしさがありまして、パワーポイントとか、そういうもので説明できる方が本来ならすごく自分自身もわかりやすいし、見てらっしゃる方に関しても、わかりやすいと思っているんですけど、なかなかそれができないという状況がありますので、どういうふうに伝えていけばいいのかというところで考えたときに、できるだけ言葉をゆっくり喋って数字なんかもゆっくり喋っていく。そういうことで認識していただくことは可能なんじゃないかなという形にしか今は変えることができない感じで発表させていただいた感じです。

**【議員 石本 毅】** パネルが使えないということなんです、実は私、質問作る際にパネルが使えればわかりやすいのにな、との気持ちはすごく持っていました。

井戸議員も言いましたが、ゆっくりしゃべる。私の場合、技量不足で字も多かったので早く喋っちゃいましたけど。当局も早いですね。市の当局もゆっくり説明してほしいし、我々もゆっくりした方がいいし、評価はとても大切なのに、当局の誰かが、仕事の邪魔にならないようにとか、そういった発想が出てくるわけで、そんな誤解がないようにするためにも、絵とか、そういったことでできればとの気持ちは持っていました。ありがとうございます。

**【議会モニターH】** 本会議場でのパネル表示が難しいのであれば、例えば、一般質問の要旨がホームページで公開されていると思いますが、それに付随して、説明のパワーポイントなりグラフなりがそこで公開されていけば、それを見ながらインターネットの放送を見る

ということはいかがでしょうか。

**【議員 津崎 和男】** 議場にいろんなものを持ち込まないとの申し合わせがあるのはあるが、国会の中継では議員の横にパネルを立てて説明をしているので、僕はそれができるように改善していくべきであり、モニターに映すなどしていくべきで、いつまでも古い恩恵を引きずるのではなく、ビジュアルの時代になっているので、市民が見やすい議事の進行に改善していくべきだと思います。議会運営委員会なり議会改革特別委員会なりで検討いただきたい。

**【議会モニターF】** 初めて議会モニターとなったが、議会をモニターする機会がなかった。今回、ホームページで閲覧したいと思ったが、6日以内ということでもう消えていたのかなと思います。すぐに消さずにしばらくは議論の内容が見れるようにして、その後の結果がどう進んでいるのかも、それに続けて広報できるような仕組みをしていただけたらいいのかなと思いました。今日は、事前に議会の仕組みも見たかったが、見れずに残念でした。

期間を長くしてほしいというのが一つと、パネルの表示ができないとの説明があったが、変えられるところは変えていただきたいと思います。

**【議会運営委員長 西垣 司】** インターネットの放映は6日目からの閲覧開始を基本としているので、後で確認いただきたいと思います。

広報に関して、広報特別委員会の委員長 西垣勲一議員から発言はありませんか。

**【議員 西垣 勲一】** 広報特別委員会の委員長をしている西垣です。何分まだ議会だよりは絶賛2回目の編集ということで、まだ流れをつかめていないところもありまして、今学んでいる最中でありまして。

先ほどの議会モニターのみなさんから言っていたようなSNS発信であったり、ライブ感であったり、そういうところが今後大事になっていくだろうと思いますので、広報特別委員会委員長としてアプローチできることは少ないかもしれないですけどそういうことを新しくしていけたらなと思います。

さらに今回新人議員が7人入れ替わりまして、十人十色と先ほども出ましたけども、このような状態になっていまして、議会の傍聴にも若い方が来られたりするようになっていまして、これをチャンスと捉えて流れを止めないよという形で、個人的には思っております。

僕もモニターをさせていただきまして、今議員という立場でいさせてもらっていますが、モニターの頃にはこんなことができないのかとか、いろいろと思いましたがなかなかできない理由というか、難しい面もありますけど、そこどンドン乗り越えて進んでいこうと思っております。

**【議長 谷垣 満】** 今ケーブルテレビの放送の中のパネル展示でありますとか、実際地方議会でもやっているところがありまして、そういった仕組みを作るのは議員でありますので、議員の方が必要だということが盛り上がってくれば議会運営委員会で話をしてそういう仕組みを作っていくことになり、そのようにトライしてほしいという意見であると思

ますので、以前の議員の方からの提案でもケーブルテレビの一般質問の通告の内容をバーで表示するようにして、見ている人に内容がわかりやすいように少しずつ。放送時間も6時間とか7時間でなく分割して見ていただいたり、わかりやすいように進めていますので。

委員会の放映については、モニターさんとの意見交換会でもずっと出てまして、前期の中で少し取組んでいく方向で進んではきていたんですけど、最終的にその内容とか実際の方向性についての合意がまだとれていなくて、ただ、議運の副委員長も言われたとおり、中身を詰めていく段階ということでご理解をいただきたいと思います。

要は議会の方で議員が必要を確認して、変えるために何が必要か、どういう規則となっているのか、認識した上で議会の総意としてその取組みを進められるようなステップを踏んでいく段階であると思っていますので、今日の意見も踏まえ議会として取組んでいきたいと考えています。

**【議会モニターD】** 今日代理で来てますけども、別に半人前半分しか言ってはいけないということではないと思います。このテーマについてはたくさん申し上げたいと思います。

先ほど話がありました委員会の配信についてですね。これは、私は常々申し上げてましたし、モニターさんからも令和3年度は委員会の内容のことを、4年度5年度については配信についてという意見が具体的にありました。

議会側として今進捗ですね、それについてしっかり予算化されているのか、それとも財政面以外の理由があるのか、お聞きします。

**【議会運営委員会委員長 西垣 司】** 議会モニターの方から委員会配信をするといったようなご意見がございましたし、前委員長からも引き継いでおりました。それは新たな議員でまた考えなさいという一つの宿題的なものをいただいております、新たに11月から新人7名を含む多くの議員の中でこれを委員会等で検討してまいりました。その検討した中で、やはりいい部分もあるんですけど、やっぱり問題点も多いんじゃないかというようなことがあります。

例えばネット配信をしているいろいろ電話がかかってくると、一体誰が対応するんだといったようなことも問題点としても挙がってくるでしょうし、そういった部分では今、急にこれを進めるというんじゃないし、もう少し状況を見て進めようかというところで現在は止まっているということでご理解をいただきたいと思います。

決してこれは今なくしてしまったということではないということで我々認識しておりますのでよろしくお祈りします。

**【議員 塚本 正彦】** 委員会のケーブルテレビの配信ということで、実は私もずっとこれまでから本会議が放送されるんだったら委員会も放送された方がいいんじゃないかなと、現在も私は思っています。

ところが、今回初めて議員になって委員会にも出ました。あえてこの場ではどの議題で、どの委員会であることはあえてここでは申しませんが、先ほど言ったデメリットもあるんじゃないか、いいことばかりじゃないよということ、まさに直感すること、今も自分の中

で感じていることがございます。

といいますのが、実はある委員会で参考人招致ということで来てもらったテーマがあったんです。実際問題それが放送されてしまうと、その方の顔が映るのかとか、名前が映るのかとか、声が映るのかということに気がした場合、結果的にそれによって委員会の中で採決を取る場合もあるんですけども、実際来てもらったことによって、自分の事前の賛成すべきか反対すべきかの動きが現実起こっているんです。現実的にはそれが起こっているんですけども、じゃそれが来てもらった人たちが市民の方に意見としてそこが挙げられたということがでてしまう場合もあった場合に、必ずしも全てが可視化してオープンにすることが正しい市政に直結するかっていうのは、いささか自分でもちょっと慎重にならなきゃいけないと感じるところがあったということで、報告させてもらえたらと思っています。

**【議会運営委員会委員長 西垣 司】** これに関しまして、深澤副議長、何かございませんか。

**【副議長 深澤 巧】** 現実的に委員会を傍聴された方はわかると思いますが、委員会というのは議会から付託された案件を事務的な法案も多いのですが、そこを専門的に予備審査をするという立場であります。実際に運営を見ていただいたらよくわかりますが、一つには暫時休憩をよく入れるんです。議事録に載せない部分は当然出てくるんです。

というのはそれを全部載せたら当局の全部、全てのことを話さない場合がありますので、この議案についての考えとかそういうところを一度オフレコにしてここは一体どうなんだ、どういうところで見たらいいんだという、これを入れないともう事務的なやり取りにしかならんということで今言ったようにそのことを本会議なんかでは、暫時休憩の部分とか必要不必要な部分をカットして載せていますが、例えばY o u T u b eとかで全部流れてしまいますし、その編集する権限とか、それが全くできないんで、例えば不穏当な発言がもしあれば、そういったところを切らないといけないということで、技術的にはできると思いますが、カメラを置いておいたら。

ただ、委員会を休憩時間を含めずとそれを見るっていうのは、現実的ではないなと個人的には思っています。そういう意味では的確にどういう議論をしたのかというようなことは一番初めに出ていました委員長報告で簡潔にその要点、キーポイントになった質疑の内容を本会議で簡潔に報告するというので、すべて見せないと公開していないというような、議会はそのような場所ではないと思っていますので。

他のいろんな見せ方とかいうのは貴重な提言いただきましたので考えて行けばいいと思いますが、委員会についてみてはそこまでの時間と労力経費を掛けてフルオープンに中継したり生配信したりすることはないのではないかなと。

かえって市民の方がまずは見られるのか。しっかり内容をどう議論したかは、今言ったように文書なり、今言ったように常任委員会のホームページの方に出ていますので、それでもって理解いただける範疇かなというふうに思っていますので。

またいろんな技術的な仕様でできるようなことがもしできればいいのですが、単にYouTubeで流すというようなことは、当初の平成21年に議会改革のときにもこれがあったんです。それは編集の問題とか転用の問題なんかがあるからやっぱり責任あるところで編集したものを流そうということで今のケーブルテレビとかインターネット配信してるんです。だからその辺のところをご理解いただきたいなというふうに思っているところでございます。

**【議会モニターD】** もう一点というかこれに絞って申し上げますと、なんかYouTubeが垂れ流しで全く手が加えられないというふうな、あるいは編集に手間がかかっているという認識だとしたら、今お話があったようなことは全て消極的な言い訳に聞こえてくると思っています。例えば朝来市議会においては、ほとんどフルオープンにされてますけども、それでもって全てが垂れ流されたかっていうと、そういうわけではないわけです。

現実問題、百条委員会も行われていましたけども、そこはプライバシーとかその辺をしっかり配慮した上で、休憩中とか再開したらベルを持ってオンオフのスイッチャーでもって切り替えているわけですね。そういうことが技術的にできるかどうかということを決定するにあたり、議会側がその手法を理解されていないというのはよくわかりました。

それ以外のところで何かやらない言い訳を並べているように私は聞こえますので、これ非常に後退したなというふうに認識しております。

財政的なことって言えばそうですけども、私はウェブカメラ一つあればできることで、あとはどう工夫するかということです。これを公開することで、後で検証できる。朝来市議会の委員会もそうですし、兵庫県議会もそうですけども後々どういった議論ができたかって検証ができるのはすごく大きなことだと思うんです。それをもって例えば個人のプライバシーとか、発言とか、議会議員が意思決定するのに影響を及ぼしたということは、それは瑣末なことだと思ってます。

これはぜひ私としては進めてもらいたいし、モニターとして関わっていけるかどうかかわからないですけど今後もこのことは言っていきたいと思います。

もう最後の最後にします。議会の日程が発表されていますけども、できたら委員会の日程も公表していただきたいなと思ってます。やはり傍聴に来るのが一番ですので、その点だけ最後をお願いしてこれ答弁を求めませんが、以上です。

**【議会運営委員会委員長 西垣 司】** 先ほどのご意見等もしっかりとさせていただき、一般質問でのパネルであるとかまた写真はできないというんじやなしに、次の作業を考えていかなければならないというようなご意見もしっかりと参考にさせていただきたいと思えます。

本日は大変みなさん方から貴重なご意見をいただきました。時間の都合を持ちまして、この辺で本日の意見交換を閉会したいと思います。

## 5 閉会

閉会につきましては、藤原議会運営委員会副委員長が申し上げます。

**【議会運営委員会副委員長 藤原 芳巳】** 議会モニターのみなさま、議員のみなさま長時間お疲れ様でした。

今回初めて本会議場を使ってやりました。いかがだったでしょうか。議員はそこに座っていつも本会議をやっていきます。

今日いただきました非常に厳しいご意見もいただきました。いただきましたご意見をしっかりと今後の運営に反映をさせていただきたいそのように思うわけでございます。

私たちは立場がかわっても、市民であろうと、議会モニターさんであろうと、議員であろうと、当局の市の職員であろうと、養父市を良くしていこうという方向性は同じだと思えますので、そのベースに立っていろいろな議論をしていきたい、そのように思っています。

一般質問が皆さんの目に止まるわけですが、いわばひとつのセレモニーでございますので、本来、いわば議員活動を日頃どうやっていくのかが非常に大事だと思います。

モニターの皆さんにもお願いしたいのですが、「サイレントマジョリティー」大勢の物言わぬ市民が、何を求めているのか、そこを求めていかないと市は良くなっていかないとはいえないかと思えますので、今後とも貴重なご意見をいただきますよう、よろしくお願いを申し上げます。

そして、今日の意見交換会を閉じたいと思います。ありがとうございました。

(～11：27)